

基本目標（施策の方向毎） 各論			意見		
			課題	現状についての良い点	
基本目標 1	自然環境	豊かな自然と人が共生するまち	①里山環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とふれあう場の提供。自然に誰でもアクセスできると良い。下手質沼の土手の整備、散歩コース。</li> <li>・環境の保全、自然資源の管理が必要。生物多様性を残していく。</li> <li>・自然環境を守るためには魅力を伝えていかないとけない</li> <li>・住みやすさの観点でも、自然資源の保全も必要。きちんと維持・管理・保全しないとせっかくの自然環境がなくなってしまうことが不利益になる。</li> <li>・緑地を壊すなどの開発行為を控えた町作り。</li> <li>・環境保全の観点からもデータセンターの必要性を考えた方が良いのでは。</li> <li>・里山や河川など自然環境の保全が重要。</li> <li>・自然環境と開発のバランスが大事。産業振興・里山の保全・地域安全の両立。</li> <li>・民有地に残っている林地、耕作放棄地をいかに活用するかが課題。</li> <li>・農地やみどりの保全の積極的な推進。</li> <li>・今井のさくら保全・整備（金山落）、平塚、今井の桜など快適な白井の自然環境を残せるのか不安。</li> <li>・梨畑が減っている。梨農家の担い手不足。</li> <li>・農業経営と担い手の支援が重要。</li> <li>・田植え、梨などの伝統文化を大事にしたい。</li> <li>・農地のICT化。</li> <li>・木を植える。</li> <li>・「なし坊」をもっと有名にして白井市・梨をPR。</li> <li>・就農人工減、温暖化による作物の生育不良に対応するため、農家当たりの耕地面積を増やす。</li> <li>・市が農業に必要な道具を支援、支給する仕組みをつくれれば、就農者増のきっかけになるのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山や河川など自然環境が良い。街路樹など街中の緑が多い。</li> <li>・都市と自然が接している。里山生態系が残っている、少し行くと水田の風景が良い、自然豊かで程よい田舎、都会に比べると静か、緑が豊か、空気がきれい。</li> <li>・田んぼの学校や、休耕地を活用した活動がある。豊かな自然の中で歩く、きもちよく汗を流す。</li> </ul>
			②生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性、空気がきれいなど良いところを残し、活かしていく</li> <li>・カクウやキジ、ひばり等、見なくなった</li> <li>・外来生物を減らす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥の音がきこえる</li> </ul>
			③まちのみどりの保全・創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園が少ない、狭い公園が多い。</li> <li>・公園の整備、遊水地の活用（水辺）、植物園をつくる等</li> <li>・里山の景観だけでなく、都市の景観・緑の推進も大事。</li> <li>・桜が管理されていない。街路樹など街中のみどりの保全の継続。</li> <li>・住宅建築時の植樹をルール化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い公園が多い。</li> <li>・みどり、散歩、きもちがいい。自然で遊ぶのが楽しい。</li> <li>・自然に触れられる。緑が多く、リフレッシュできる。</li> <li>・静かで暮らしやすい。都市と緑、農地が近い。</li> </ul>
基本目標 2	地球環境	地球温暖化対策に取り組み、気候変動に備えるまち	①再生可能エネルギーの普及拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの推奨、普及。</li> <li>・ソーラーパネルの設置、交換に対する補助金。</li> <li>・駐車場等への太陽光発電パネルの設置。</li> </ul>	
			②省エネルギーの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED 照明化。</li> <li>・環境に優しい車への補助金。</li> <li>・「電気使用量に上限を設ける」等のルール作り。</li> <li>・白井市HPで節電方法を紹介し、市民の節電意識を向上させる。</li> </ul>	
			③交通対策による脱炭素化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車に乗ることができる人を前提とした街作りになっている。高齢者、車がなくても不便を感じない移動手段の確保が課題。</li> <li>・公共交通が生活（買物、通院、通所、遊び）や通勤・通学に不便（経路、便数、通勤・通学時間帯にバスがない、高い、遠回りルート、時間情報を得る手段がないなど）。利便性の向上が必要。</li> <li>・コミュニティバス見直し、ライドシェア、乗合タクシー、シェアサイクル（電動含む）、北総線の値下げ・アクセス特急の停車、市域を超えた広域連携等、自家用車に頼らない、安価で手軽に利用できる移動手段、交通システムがあると良い。</li> <li>・電車の本数が少なく、運賃が高い。バスが少ない。</li> <li>・白井市内及び市外の病院までのコミュニティバスを増やし、乗降自由にして、使いやすい交通。民間との相互利用にして、効率的な交通網を整備する。</li> <li>・便利な移動手段の確保に向けて、官民連携で実証実験をしてほしい。白井市内全域を自動運転などの先端技術実証実験地域化。</li> <li>・歩道、道路が狭くて危険。通学路が危険な所が多い。自転車や徒歩の安全確保を徹底してほしい。</li> <li>・凸凹な道路が多く、車いすやベビーカーで動きづらいところもある。</li> <li>・ベビーカーや自転車などで安全・安心に通行できる歩道、自転車専用道路を整備してほしい。</li> <li>・渋滞もひどいので、北千葉道路の事業を進めてほしい</li> </ul>	
			④脱炭素型まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンニュートラルの推進が重要。</li> <li>・移動販売車、移動スーパーの活用。</li> <li>・独居老人の方がお買い物に困らないよう移動スーパーを地区ごとに走らせる。</li> <li>・公共施設の電力を再生可能エネルギーに切り替える。</li> </ul>	
			⑤気候変動への適応の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震・台風などに備えた防災対策の継続。</li> <li>・発災時の対策について、あらかじめ情報を共有しておくことが重要。</li> <li>・高齢化が進行している地域は災害時が不安。</li> <li>・防災のための水質調査が必要。</li> <li>・熱中症対策に、学校の体育館や武道場へのエアコン設置が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災公園ができた。</li> <li>・空地、畑があるから災害の時はテントを張れる。</li> </ul>

基本目標（施策の方向毎） 各論			意見		
			課題	現状についての良い点	
基本目標 3	生活環境	安全・安心を維持し、快適に住み続けられるまち	①健康・快適な環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井戸が多い。</li> <li>・井戸の水質悪化で使用していない。</li> <li>・フッ素問題の追及。</li> <li>・上・下水道の整備が重要。</li> <li>・産廃処理場、ヤードが増え、自然環境、生活環境が悪化している。産廃の火事あり。環境、治安、景観に不安。規制が必要。</li> <li>・騒音・振動・悪臭などの公害対策が重要。</li> </ul>	
			②美しいまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のある土地をもっと生かす工夫とアクセス。駅近の調整池周囲の林が利用されていない。使いにくい。</li> <li>・自然と開発の適度なバランスを維持してほしい。</li> <li>・乱開発の防止、景観条例の制定、計画的な土地利用・開発が必要。</li> <li>・住環境の維持、保全。住宅街周辺の開発はセンシティブ。</li> <li>・桜台の桜並木を守り、住環境を継承していきたい。</li> <li>・街中や駅前の雑草をどうにかして欲しい。道路の雑草管理の徹底。</li> <li>・ゴミのポイ捨て気になる。空地、道路にゴミが多い。道路沿い草深いと捨てられる。町の道をキレイに！</li> <li>・不法投棄防止対策が重要。</li> <li>・ゴミステーションに住人以外の方が捨てていく。ゴミステーションの管理が必要。</li> <li>・笹竹の処理が悩み。竹藪の解消。</li> <li>・空家、荒地、耕作放棄地の活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の活動として環境美化活動に取り組んでいる。</li> </ul>
基本目標 4	資源循環	ごみを減らし、資源の循環に取り組むまち	①ごみ減量の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別、ゴミのリデュース、リユース、リサイクルの実施。</li> <li>・食品残渣がもったいない。</li> </ul>	
			②ごみの資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの減量とリサイクルの推進が重要。</li> <li>・廃材利用。リサイクルできる素材を使って商品を作る。</li> </ul>	
基本目標 5	環境保全	環境にやさしいライフスタイルを広げるまち	①環境保全活動を実践するひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材を育てることが宝の山となる。</li> <li>・環境学習や環境美化活動の推進。</li> <li>・自然教育、田植えイベント、農業の学習機会があると良い。梨を活かした環境教育。</li> <li>・自然や梨のミュージアムをつくったり、市民に環境問題と呼びかける。</li> <li>・環境資源が子ども達にあまり知られていない。地域の子どもの環境学習。</li> <li>・自然学習への地元の方の参加者が少ない。</li> <li>・白井の自然を楽しむ場所がない、知らない。</li> <li>・SDGs を大切にできる町。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を活かした団体による活動がある。</li> </ul>
			②連携・協働の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、市民、事業者が一体となって取り組む必要性。</li> <li>・環境に関することを自治会に求めている人が多い。</li> <li>・SDGs のコミュニティをつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・管理組合でのクリーンデイの取組み。</li> <li>・自治会と子供会の連携でゴミゼロ運動に子供たちも参加。</li> </ul>
			③環境ビジネスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が多くあるのにキャンプ場等の自然を生かす産業がない。</li> <li>・自然を体験できる施設やイベントを開いたら良い。</li> <li>・桜並木の景観を活かしたイベント、名所づくりなども大事。</li> <li>・景観を守るだけでなく、これを利用して町の活性化を推進し両立を図って欲しい。</li> <li>・観光資源が少ない、気付いていない、PRできていない。</li> <li>・生物多様性は今後の企業誘致のキーワードになっていく、発展の中で欠かせない。</li> <li>・梨ミュージアム、梨のアレンジ商品、梨の栽培体験、梨の観察会、ふるさと納税、なし坊等でPR。</li> <li>・空地を使って家を作り、起業させやすくする。</li> <li>・古民家を改装したお試し居住。</li> </ul>	